

地球研叢書

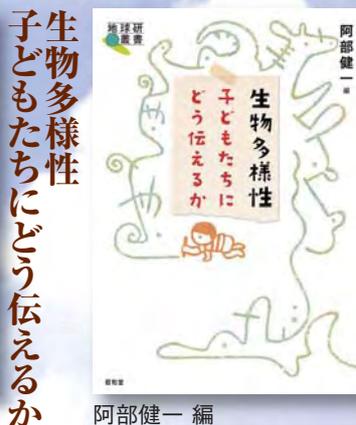
地球環境問題を根源からとらえるシリーズ

*地球研は総合地球環境学研究所の略称で、2001年、京都に創設されました。大学共同利用機関法人・人間文化研究機構の一機関として、地球環境問題を根本からとらえて研究しています。この叢書は地球研の研究成果をわかりやすく紹介するものです。



生物多様性 どう生かすか
保全・利用・分配を考える

山村則男 編



生物多様性
子どもたちにどう伝えるか

阿部健一 編



食と農の未来
ユーラシア一万年の旅

佐藤洋一郎 著



ポスト石油時代の人づくり・モノづくり
日本と産油国の未来像を求めて

石山俊・縄田浩志 編



水と人の未来可能性
しのびよる水危機

総合地球環境学研究所 編



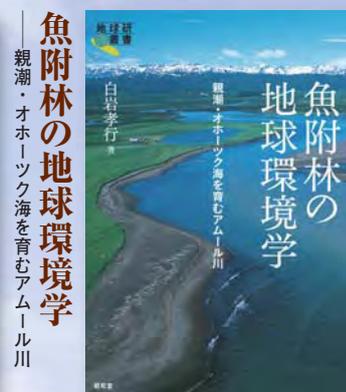
モノの越境と地球環境問題
グローバル化時代の〈知産知消〉

窪田順平 編



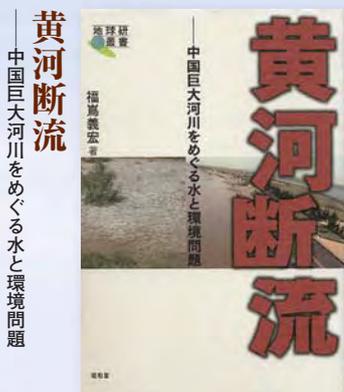
安定同位体というメガネ
人と環境のつながりを語る

和田英太郎・神松幸弘 編



魚附林の地球環境学
親潮・オホーツク海を育むアムール川

白岩孝行 著



黄河断流
中国巨大大河をめぐると環境問題

福巖義宏 著



地球の処方箋
環境問題の根源に迫る

総合地球環境学研究所 編



食卓から地球環境がみえる
食と農の持続可能性

湯本貴和 編



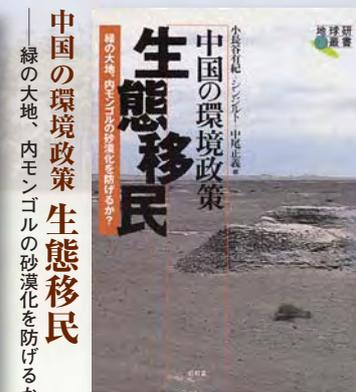
地球温暖化と農業
地域の食料生産はどうなるのか？

渡邊紹裕 編



生物多様性はなぜ大切か?
日高敏隆

日高敏隆 編



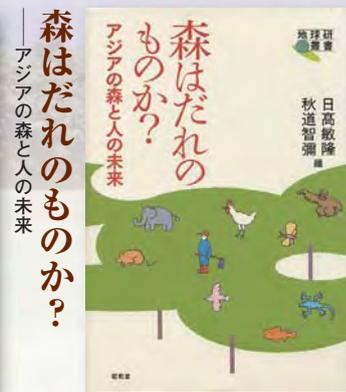
中国の環境政策 生態移民
緑の大地、内モンゴルの砂漠化を防げるか？

小長谷有紀・シンジルト・中尾正義 編



シルクロードの水と緑はどこへ消えたか?
日高敏隆・中尾正義

日高敏隆・中尾正義 編



森はだれのものか?
アジアの森と人の未来

日高敏隆・秋道智彌 編

ポスト石油時代の人づくり・モノづくり——日本と産油国の未来像を求めて

石山俊・縄田浩志 編 **最新刊**

目次 序章 地球環境問題の処方箋はできるのか(石山俊)
第1章 石油文明の頂点から考える——何を失ってきたのか、何を残していくのか(縄田浩志)
第2章 エネルギー危機を前に、現代人類の危機をどう考えるか(嶋田義仁)
第3章 オアシスの伝統的生活から学ぶ未来(藤木恵子)
第4章 産油国での人づくり、日本での人づくり(大沼洋康)
第5章 田舎暮らしからエネルギー問題を考える(石山俊)
第6章 木質バイオマスの新時代(中西昭雄)
終章 石油なしでも「未来可能性」のある生き方(縄田浩志)

四六判・上製 256頁 ISBN978-4-8122-1258-5 定価 2415円

食と農の未来——ユーラシア万年の旅

佐藤洋一郎 著

目次 第1章 人類はいつも飢えていた——食とは何か
第2章 ユーラシアの人びとは何を食べてきたのか——食の枠組み
第3章 人類は環境を食いつぶすつもりなのか——食と地球環境問題
第4章 農業はいつ始まったのか——食の生産の歴史
第5章 農業が環境を破壊するとき——農業生産の持続性
第6章 食の倫理を問う——食と農の未来

四六判・上製 260頁 ISBN978-4-8122-1176-2 定価 2415円

生物多様性 子どもたちにどう伝えるか

阿部健一 編

目次 第1章 生物多様性の伝え方——科学と文化(阿部健一)
第2章 生物多様性とは何か——暮らしに生きる自然(岡安直比)
第3章 生物多様性を受け入れる生き方、考え方は(神松幸弘)
第4章 生きものの個体を追跡してみると……(依田憲)
第5章 子どもたちの幸せのために、里山をとおして何を伝えるか(夏原由博)
【コラム】子どもたちから遠くなった自然(今西亜由美)
第6章 森の実践から学ぶ生物多様性の保全(横山智)

四六判 上製 216頁 ISBN978-4-8122-1119-9 定価 2310円

生物多様性 どう生かすか——保全・利用・分配を考える

山村則男 編

目次 はじめに(山村則男)
第1章 生物多様性とは何か——暮らしに生きる自然(岡安直比)
第2章 生物多様性条約とは何か——科学と政治のあいだ(香坂玲)
第3章 生物多様性は生かされているか——食卓から考える(佐藤洋一郎)
第4章 生物多様性は生かされてきたか——持続的利用と破壊の歴史(湯本貴和)
第5章 生物多様性を守るために——遺伝資源利用による利益の公平な配分(大沼あゆみ)

四六判 上製 192頁 ISBN978-4-8122-1145-8 定価 2310円

魚附林の地球環境学——親潮・オホーツク海を育むアムール川

白岩孝行 著

目次 1章 豊穡の海
2章 鉄不足にあえぐ海
3章 国際チームをつくる
4章 フィールドワークを取り巻くさまざまな問題
5章 ひとつの仮説
6章 大気から来る鉄は重要か
7章 アムールリマンの謎
8章 鉄を生み出す湿原
9章 アムール川流域の土地利用変化とその背景
10章 数値モデルが語る鉄の未来
11章 魚附林と巨大魚附林
12章 アムール・オホーツクコンソーシアムの設立へ
13章 平和環境圏構築と大学からの挑戦

四六判 上製 カラー2頁+240頁 ISBN978-4-8122-1118-2 定価 2415円

安定同位体というメガネ——人と環境のつながりを診る

和田英太郎・神松幸弘 編

目次 序章 安定同位体って何?(神松幸弘)
第1章 生き物同士のつながりを診る——アミノ酸の窒素同位体比を用いて(大河内直彦他)
第2章 気候と社会の歴史を診る——樹木年輪の酸素同位体比からの解説(中塚武)
第3章 地球環境のトレーサビリティー(中野孝教)
第4章 環境診断学の誕生(和田英太郎)

四六判 上製 180頁 ISBN978-4-8122-1017-8 定価 2310円

モノの越境と地球環境問題——グローバル化時代の〈知産知消〉

窪田順平 編

目次 前口上——もうひとつの地球環境問題入門(立本成文)
序章 モノがつながる地域と地球(窪田順平)
第1章 食料——エビの風景(村井吉敬)
第2章 木材——アムール川の棲む森はいま(山根正伸)
第3章 水——日本に輸入される大量の「仮想水」(窪田順平)
第4章 廃棄物——ごみの行方を追う(寺園淳)
第5章 感染症——この不安をどう乗り越えるか?(門司和彦)
第6章 地産地消から知産知消へ——つながりという「関係価値」(阿部健一)

四六判 上製 224頁 ISBN978-4-8122-0933-2 定価 2415円

図書出版 **昭和堂** 〒606-8224 京都市左京区北白川京大農学部前
TEL 075-706-8838 (営業) FAX 075-706-8878
http://www.kyoto-gakujutsu.co.jp/showado/
表示価格は5%税込
お申し込みはお近くの書店様へお願いいたします。

水と人の未来可能性——しのびよる水危機

総合地球環境学研究所 編

目次 はじめに(立本成文)
第1章 人と水の関係史(佐藤洋一郎)
第2章 水を利する——水をあやつる知恵(渡邊紹裕)
第3章 生態系を巡る水(湯本貴和)
第4章 見えない水をはかる(谷口真人)
第5章 水はだれのものか——水の協治と生態史の構築にむけて(秋道智彌)

四六判 上製 196頁 ISBN978-4-8122-0922-6 定価 2415円

地球温暖化と農業——地域の食料生産はどうなるのか?

渡邊紹裕 編

目次 はじめに(立本成文)
序章 地球温暖化で農業はどうなるのか(渡邊紹裕)
第1章 地球温暖化で地域の気候はどうなるのか(木村富士男)
第2章 地球温暖化で水循環はどうなるのか(長野宇規)
第3章 地球温暖化で作物の生育はどうなるのか——コメとムギ(中川博視)
第4章 地球温暖化で穀物の需給はどうなるのか(辻井博)
第5章 地球温暖化と農業のこれから(渡邊紹裕)

四六判 上製 カラー4頁+240頁 ISBN978-4-8122-0829-8 定価 2415円

食卓から地球環境がみえる——食と農の持続可能性

湯本貴和 編

目次 第1章 人間にとってのおいしさ(伏木亨)
第2章 日本列島に住む人々は何を食べてきたか(湯本貴和・米田穰)
第3章 日本の食卓はいま(佐藤洋一郎)
第4章 「食」の現状——人類史上の位置(秋道智彌)
第5章 農業・漁業の持続可能性を問う(嘉田良平)

四六判 上製 168頁 ISBN978-4-8122-0813-7 定価 2310円

地球の処方箋——環境問題の根源に迫る

総合地球環境学研究所 編

目次 第I部 環境史・文明
第II部 食・資源
第III部 多様性
第IV部 循環

四六判 上製 224頁 ISBN978-4-8122-0816-8 定価 2415円

黄河断流——中国巨大河川をめぐる水と環境問題

福島義宏 著

目次 第I部 黄河に何が起こったか?
第II部 黄河断流はどのように起こったのか?
第III部 「黄河断流」からみた地球環境問題
終章 「黄河断流」の意味するもの

四六判 上製 カラー4頁+202頁 ISBN978-4-8122-0775-8 定価 2415円

森はだれのものか? ——アジアの森と人の未来

日高敏隆・秋道智彌 編

目次 はじめに(日高敏隆)
序章 森と人の生態史(秋道智彌)
第1章 森の一万年史から(湯本貴和)
第2章 ボルネオ・イバン人の「里山」利用の変化と日本とのかかわり(市川昌広)
第3章 ボルネオ熱帯雨林ランピルの林冠でみえたこと(酒井章子)
第4章 だれのための森か(阿部健一)
第5章 「協治」の思想で森とかわる(井上真)
第6章 世界の森の現状からみた地球未来(山田勇)

四六判 上製 カラー4頁+200頁 ISBN978-4-8122-0708-6 定価 2415円

シルクロードの水と緑はどこへ消えたか?

日高敏隆・中尾正義 編

目次 はじめに(日高敏隆)
第1章 タクラマカン砂漠は緑だった……?(井上隆史)
第2章 来る水、行く水——オアシスをめぐる水の循環(中尾正義)
第3章 オアシスの盛衰と現代の水問題(中尾正義)
第4章 砂漠化は地球環境に何をもたらすのか?(中野孝教)
第5章 シルクロードから消えた水と世界水危機(鼎信次郎)
コラム 心の水を考える(小野浩)

四六判 上製 カラー4頁+212頁 ISBN978-4-8122-0625-6 定価 2520円

中国の環境政策 生態移民——緑の大地、内モンゴルの砂漠化を防げるか?

小長谷有紀・シンジルト・中尾正義 編

目次 序章 中国西部辺境と「生態移民」
第I部 生態的側面を問う——「生態移民」は環境保全を果たせるか?
第II部 経済的側面を問う——「生態移民」は貧困削減を果たせるか?
第III部 文化的側面を問う——「生態移民」はいかなる文化変容をもたらすか?
終章 地球環境問題と「生態移民」

四六判 上製 328頁 ISBN978-4-8122-0523-5 定価 2940円

生物多様性はなぜ大切か?

日高敏隆 編

目次 第1章 生物多様性とはなんだろう?(中静透)
第2章 「雑食動物」人間(日高敏隆)
第3章 遺伝子からみた多様性と人間の特徴(川本芳)
第4章 文化の多様性は必要か?(内山純蔵)
第5章 生活のなかの生物多様性(佐藤洋一郎)

四六判 上製 192頁 ISBN978-4-8122-0506-8 定価 2415円